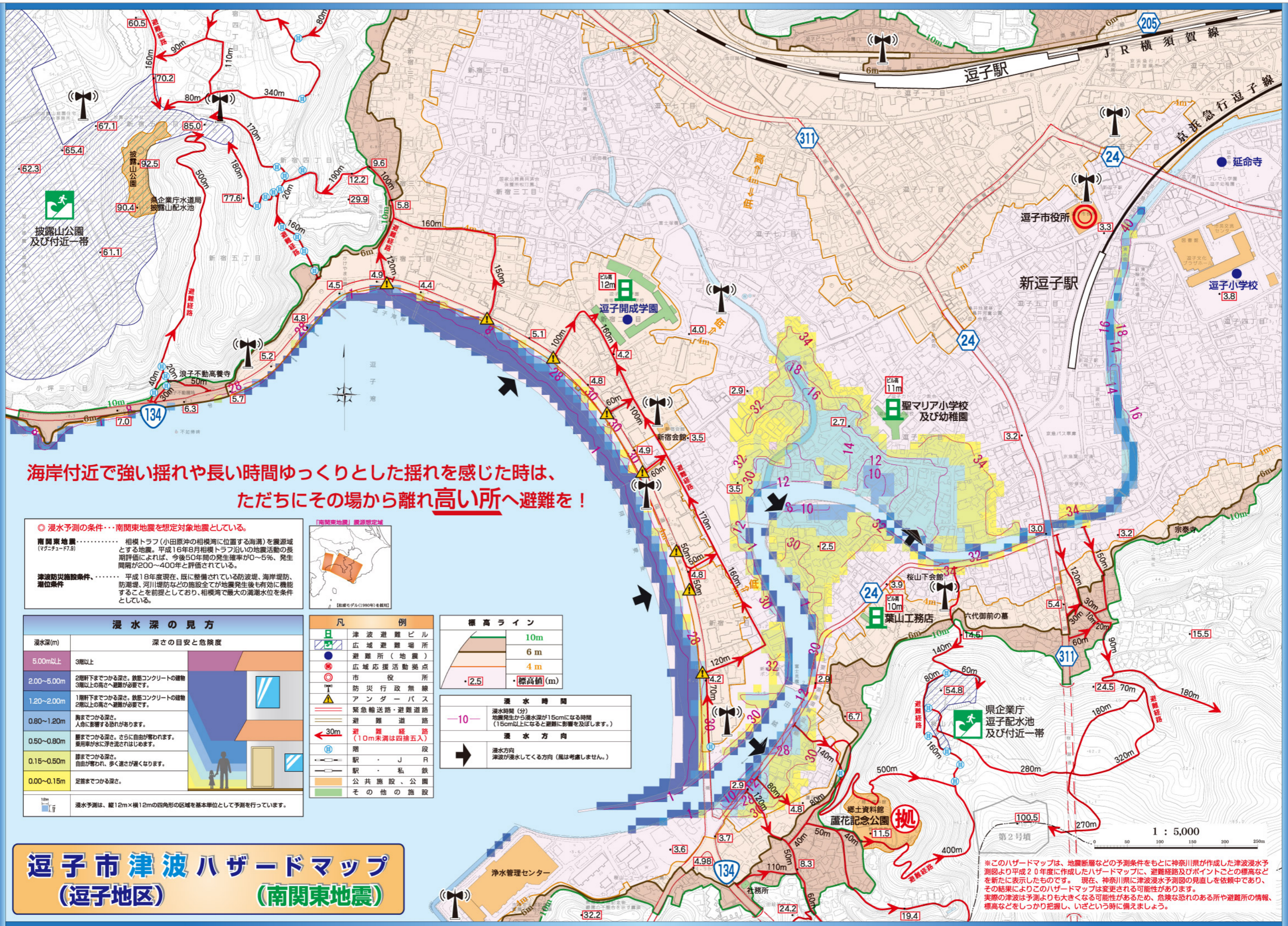


大切に保管してください



海岸付近で強い揺れや長い時間ゆっくりとした揺れを感じた時は、
ただちにその場から離れ高い所へ避難を！

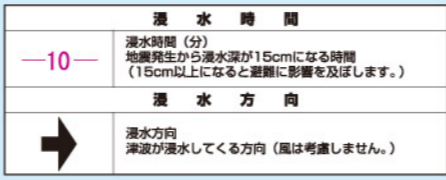
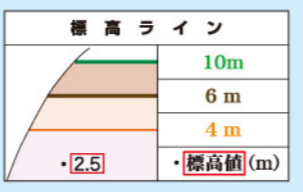
○ 浸水予測の条件・・・南関東地震を想定対象地震としている。
南関東地震……………相模トラフ(小田原沖の相模湾に位置する海溝)を震源域とする地震。平成16年8月相模トラフ沿いの地震活動の長期評価によれば、今後50年間の発生確率が0~5%、発生間隔が200~400年と評価されている。
津波防災施設設置条件、……………平成18年度現在、既に整備されている防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設全てが地震発生後も有効に機能することを前提としており、相模湾で最大の満潮水位を条件としている。



浸水深の見方	
浸水深(m)	深さの目安と危険度
5.00m以上	3階以上
2.00~5.00m	2階軒下までつかる深さ。鉄筋コンクリートの建物3階以上の高さへ避難が必要です。
1.20~2.00m	1階軒下までつかる深さ。鉄筋コンクリートの建物2階以上の高さへ避難が必要です。
0.80~1.20m	胸までつかる深さ。人命に影響する恐れがあります。
0.50~0.80m	腰までつかる深さ。さらに自由が奪われます。乗用車が水に浮き流されはじめます。
0.15~0.50m	膝までつかる深さ。自由が奪われ、歩く速さが遅くなります。
0.00~0.15m	足元までつかる深さ。

12m
浸水予測は、縦12m×横12mの四角形の区域を基本単位として予測を行っています。

凡	例
日	津波避難ビル
■	広域避難場所
●	避難所(地震)
●	広域応援活動拠点
○	市役所
T	防災行政無線
▲	アンダーパス
→	緊急輸送路・避難道路
→	避難道路
←30m	避難経路(10m未満は四捨五入)
Ⓜ	階段
—	駅・JR
—	駅・私鉄
■	公共施設、公園
■	その他の施設



返子市津波ハザードマップ
(返子地区)
(南関東地震)

※このハザードマップは、地震断層などの予測条件をもとに神奈川県が作成した津波浸水予測図より平成20年度に作成したハザードマップに、避難経路及びポイントごとの標高などを新たに表示したものです。現在、神奈川県に津波浸水予測図の見直しを依頼中であり、その結果によりこのハザードマップは変更される可能性があります。実際の津波は予測よりも大きくなる可能性があるため、危険な恐れのある所や避難所の情報、標高などをしっかりと把握し、いざという時に備えましょう。